

# 「気仙沼線沿線自治体首長会議」

## 議事次第

日時:平成27年6月5日(金)15:15～16:15

場所:国土交通省

中央合同庁舎3号館4階幹部会議室

### 1. 開 会

### 2. 挨拶

### 3. 議 事

(1) 東日本旅客鉄道株式会社からの現状報告

(2) 各自治体からの現状報告

(3) その他

### 4. 閉 会

(配付資料)

- ・気仙沼線沿線自治体首長会議 名簿
- ・気仙沼線沿線自治体首長会議について
- ・東日本旅客鉄道株式会社説明資料

## 気仙沼線沿線自治体首長会議 名簿

西村 明宏	国土交通副大臣（座長）
菅原 茂	気仙沼市長
佐藤 仁	南三陸町長
布施 孝尚	登米市長
三浦 秀一	宮城県副知事
深澤 祐二	東日本旅客鉄道株式会社代表取締役副社長
藤田 耕三	国土交通省鉄道局長
菱田 一	復興庁統括官

（敬称略）

## 気仙沼線沿線自治体首長会議について

### 1. 目的

これまでの復興調整会議における議論を踏まえつつ、気仙沼線の復旧方針をハイレベルで協議することを目的とする。

### 2. 構成員

西村	明宏	国土交通副大臣（座長）
菅原	茂	気仙沼市長
佐藤	仁	南三陸町長
布施	孝尚	登米市長
三浦	秀一	宮城県副知事
深澤	祐二	東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長
藤田	耕三	国土交通省鉄道局長
菱田	一	復興庁統括官

（敬称略）

# 気仙沼線鉄道復旧の課題

## ○お客さまの安全の確保

[本吉・陸前階上間]

・L2津波時に避難が困難

⇒安全確保のため、ルート移設が必要

[清水浜・陸前小泉間のトンネル]

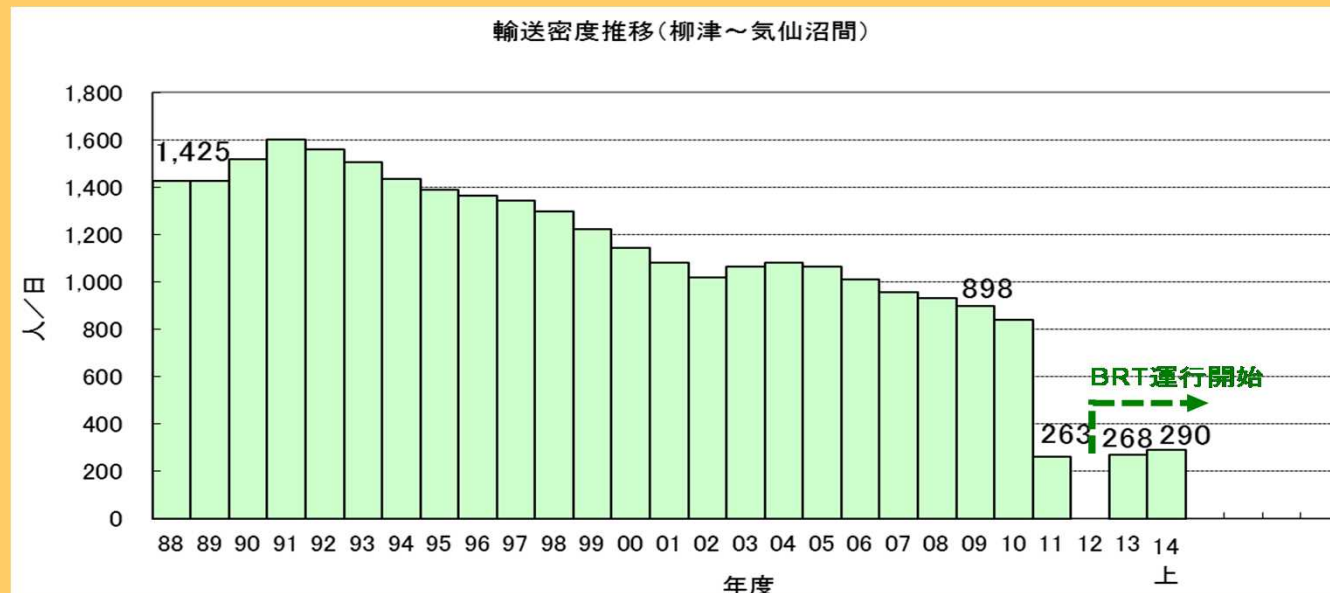
・L2津波時にトンネル内の避難が困難

## ○復旧費の当社単独負担は難しい

原状復旧	安全・まちづくり考慮	差額
300億円	700億円	+400億円

## (参考)ご利用状況

・利用者の減少



- ・鉄道の特性を発揮できる水準とは言い難い
- ・地域交通としての役割を果たせなくなる恐れ







○鉄道とBRTのサービスレベルの比較

	気仙沼線(柳津・気仙沼)	
	鉄道(震災前)	BRT(現在)
駅数	18駅	19駅 (うち自治体要望に合わせた新駅1)
日中の運行頻度 (運行本数)	1時間~5時間程度のバラつきのある運行 (19本~22本)	30分or1時間のパターン運行 (30本~65本)
所要時間の 変化 (専用道整備率)	90分	106分 (約23km(41%))

○2014年度の気仙沼線BRTの遅れ実績

遅れ時間	5分未満	5分以上 10分未満	10分以上
本数	21,661	1,765	499
構成比率	<b>90.5%</b>	7.4%	2.1%

**5分未満の遅れが90%以上⇒定時性は概ね確保**



○ロケーションシステムとBRTネット



駅での案内画面表示例

ケータイ  
スマホでも  
チェック可能

○odeca  
(オデカ、BRT専用IC乗車券・定期券)



○時刻表へのBRTダイヤ掲載  
(緑:鉄道 赤:BRT)



※2015年3月14日より、「Suica」利用が可能に



- ・ニュース
- ・天気予報
- ・生活関連情報
- ・観光情報 など



車内モニター



# 気仙沼線BRT運行ルート



## 志津川地区まちづくりに併せた駅移転



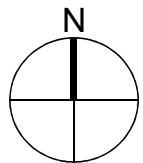
前谷地駅延伸(6/27)  
(乗換回数、接続機会改善)



地元要望に合わせた新駅設置  
(駅数:18駅⇒19駅)

【凡例】

- 専用道 — 専用道上駅 ○
- 一般道 — 一般道上駅 ○



出典:国土地理院